

平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果について（6年）

平成28年4月19日に6年生の全国学力調査（国語・算数）を行いました。その結果が集計され送付してきましたので、お知らせします。児童一人一人には、個人の結果と分析を配布します。それには、問題の内容別の正答率が出ています。学習内容がどれくらい身に付いているかを確かめて、今後の学習に役立ててもらいたいです。学校としては、この結果や分析から授業改善プログラムに反映するなどして、本校の教育活動の一層の充実と改善を図ってまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。国語と算数のAは主に知識、Bは主に活用に関する内容の調査です。

【国語】 1. 結果

		正答率			
		国語A（知識）		国語B（活用）	
		大泉小	全国	大泉小	全国
	教科全体	76.5	72.9	66.1	57.8
領域	話すこと・聞くこと	82.0	79.2	60.1	51.1
	書くこと	84.4	72.8	64.2	53.4
	読むこと	85.2	78.5	74.9	69.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	72.6	71.1		

2. 分析

大泉小の正答率は、Aの知識、Bの活用共に全国平均を上回っています。特に、書くことの正答率がAB共に10%以上も全国平均より上回っている結果をみると、自分の考えを書いたり、学習したことをしっかりとまとめたりする力が身に付いてきていると考えます。国語の力は他の教科・領域とも関わってきます。国語の授業だけでなく、教科・領域で言語活動を進めている成果と捉えています。意識調査でも、学級の友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると答えている児童が80%近くもいます。学級・学年での学び合いが児童により影響を与えているのかもしれませんが、本校では、国語の読みについての授業研究を進めています。児童同士の交流を学習場面に取り入れながら、さらに学び合いが高まるように進めていきます。

【算数】 1. 結果

		正答率			
		算数A（知識）		算数B（活用）	
		大泉小	全国	大泉小	全国
	教科全体	84.2	77.6	55.7	47.2
領域	数と計算	85.9	80.5	58.7	44.4
	量と測定	82.8	77.0	44.3	43.7
	図形	89.3	78.8	40.4	36.3
	数量関係	78.1	68.5	52.5	42.9

2. 分析

大泉小の正答率は、Aの知識、Bの活用共に全国平均を上回っています。特に、数量関係の正答率がAB共に10%近く全国平均を上回っている結果を見ると、場面を読み取り、その関係をしっかりと式に表すことができる力が身に付いてきていると考えます。意識調査では、算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えると答えている児童が90%以上います。よりよい解決方法を考えようとする態度は算数の理解を深めます。一人一人の考える力を身に付け、算数の理解が深まるようにさらに授業の工夫を行っていきます。